

DIGISTOR 機能紹介

マルチサーバー機能 PC

アクセス中の DIGISTOR に他の DIGISTOR を登録し、まとめて管理できる機能です。
他拠点間の統合管理や、セクション別のレコーダーの一括管理にご活用いただけます。

※標準搭載機能 ※最大 256 チャンネルまで（ファームウェア Ver.77 以降は最大 512 チャンネルまでとなります）

マルチサーバー機能のイメージ

拠点 A (大阪) DIGISTOR (A)
拠点 B (名古屋) DIGISTOR (B)
拠点 C (福岡) DIGISTOR (C)

登録 登録

アクセス

本部 (東京)

A	A	A	A
B	B	B	B
C	C	C	C

マルチサーバーの登録画面

HDD 通電時間お知らせ機能 PC LD

HDD 通電時間が 20,000 時間を経過した際にユーザー様へお知らせ（アラート表示）する機能です。

HDD メーカーが推奨する予防交換時期の目安である通電時間 20,000 時間が経過すると HDD エラーが発生しやすくなるため、DIGISTOR シリーズでは、出荷時初期設定としてこの機能を組み込んでいます（下画像参照）。

アラートが表示された場合には、ユーザー様に予防交換をご案内ください。

アラート表示画面

HDD ロット 3 (HDD: WDC WD3000FVX-017B1): HDDの通電時間が、交換推奨時間を超えました: 20000 時。
※HDDの交換推奨時期です。販売店様へご連絡をお願いします。

警告しきい値の変更画面

警告しきい値	N/A	時
	10000	
	15000	
	20000	
	25000	
	30000	
	35000	
	40000	
	45000	

※アラートが表示された後、警告しきい値を「N/A」もしくは「25,000」時以上に変更しなければ、翌朝 8 時に同じ警告が表示されます。「警告しきい値」は、「ディスク管理」→「ディスク情報」の各 HDD より変更することができます。なお、設定変更後は再起動が必要となります。

定期通知機能 PC LD

あらかじめ設定したメッセージを、指定した日付に画面上に表示して通知することができます。

指定できる日付は開始日から起算して最大 2,000 日まで、件名・メッセージ内容は規定の文字数（127 文字）以内であれば設定可能です。

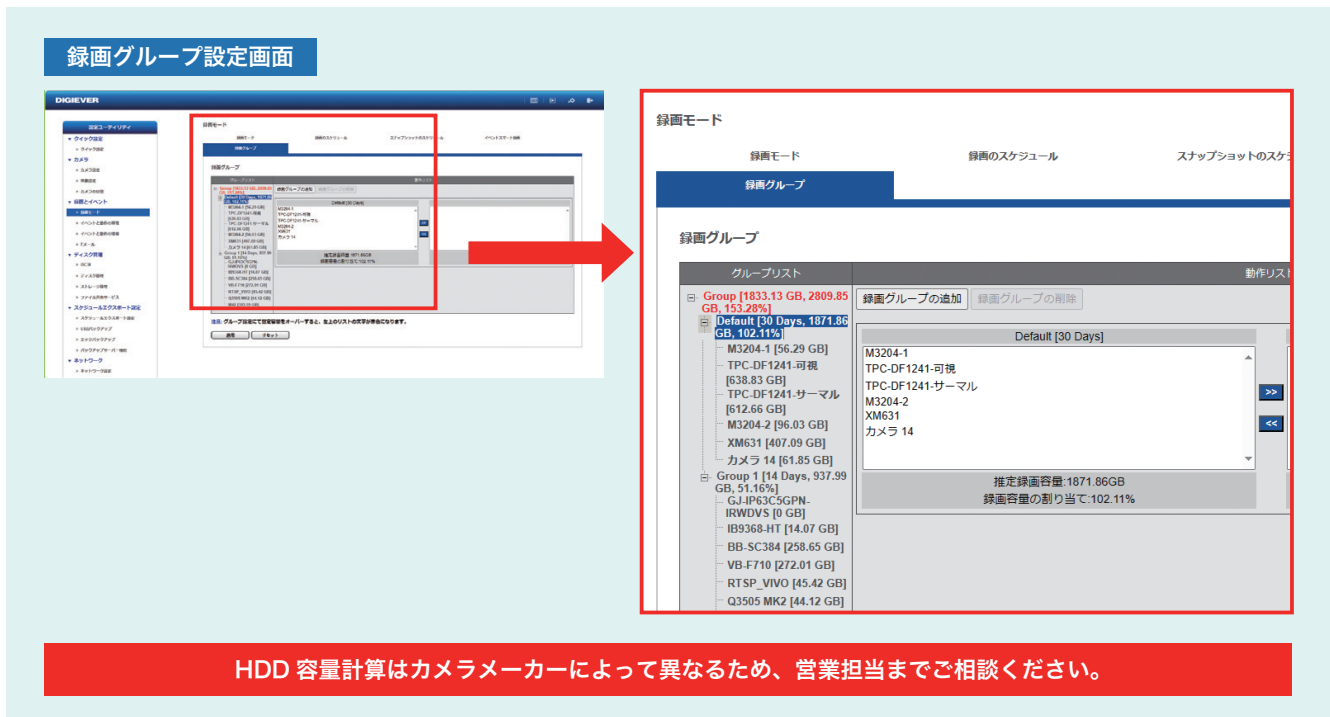
メンテナンス時期の案内や HDD 交換時期の再案内など、お知らせしたいメッセージを自由に作成して画面上で通知することができます。



録画グループ設定 PC LD

任意のカメラごとにグループを作り、グループ別に保存日数を分けて設定することができます。

例) カメラ A・B は 14 日間、カメラ C・D・E は 180 日間など



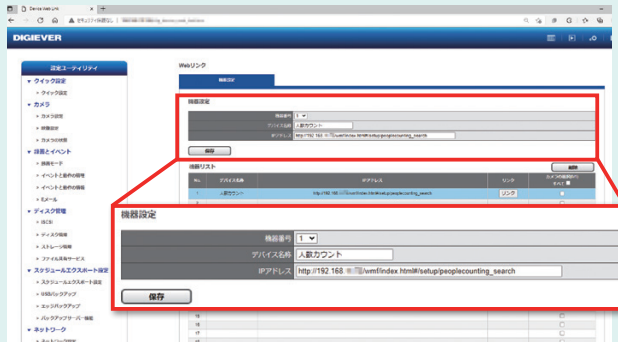
HDD 容量計算はカメラメーカーによって異なるため、営業担当までご相談ください。

WEB リンク PC

アクセスしたい外部リンク先のアドレスを事前に登録することで、そのリンク先に直接移行することができます。外部リンク先のアドレスは、以下の例のように“/”以下の内容まで記載することができます。

(例) http://192.168.xx.xx/wmf/index.html#/setup/peoplecounting_search

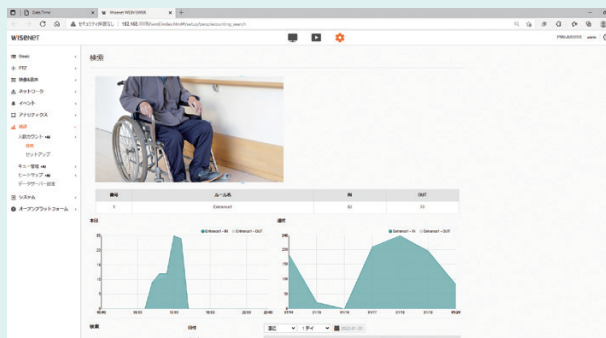
WEB リンクの設定方法



①機器設定にて、「デバイス名称」、作成したいリンク先の「IPアドレス」を入力してください。



②モニタリング画面に移行し、上部メニューバーの左端にある WEB リンクボタンをクリックしてください。移行したいリンク先を選択し、OKをクリックしてください。



③リンク先のページが表示されます。

WEB リンクの利用例

- DIGISTOR の操作方法が分からなくなった時でもすぐに調べられるように、DIGISTOR の簡易マニュアルや説明動画のリンクを貼っておく。
- DIGISTOR と連動させている人数カウントカメラの情報にすぐアクセスできるように、管理画面のリンクを貼っておく。

他にも、パトライトや電気錠などの HTTP コマンドで制御できる機器の制御も可能です。

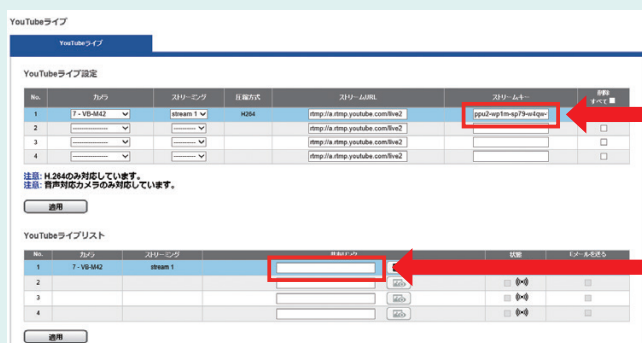
YouTube ライブ配信 PC

DIGISTOR が取り込んでいるカメラの映像を、YouTube チャンネルでライブ配信することができます。カメラ側のネットワーク環境に依存せず、レコーダー側のネットワーク環境下で安定した配信が可能です。配信しているカメラ映像を録画することもできます。

YouTube ライブの設定方法

※設定は PC からのみ行えます。

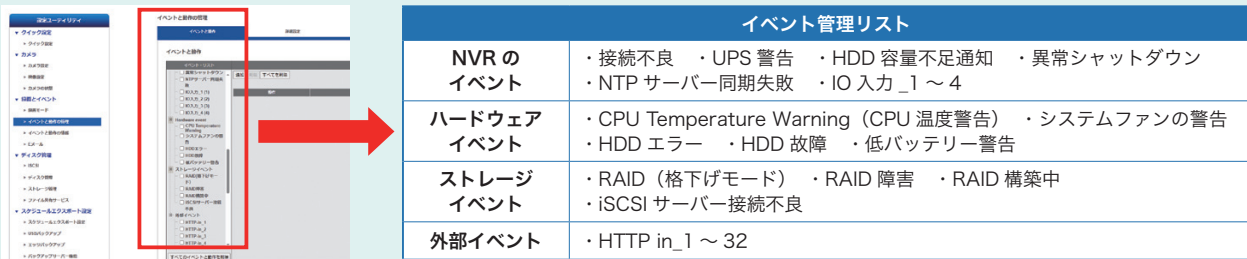
※ YouTube のアカウントが別途必要です。



「ストリームキー」「共有リンク」をコピーし、「YouTube ライブ設定」画面の該当箇所それぞれにそれぞれペーストしてください。

多彩なイベント管理機能 PC LD

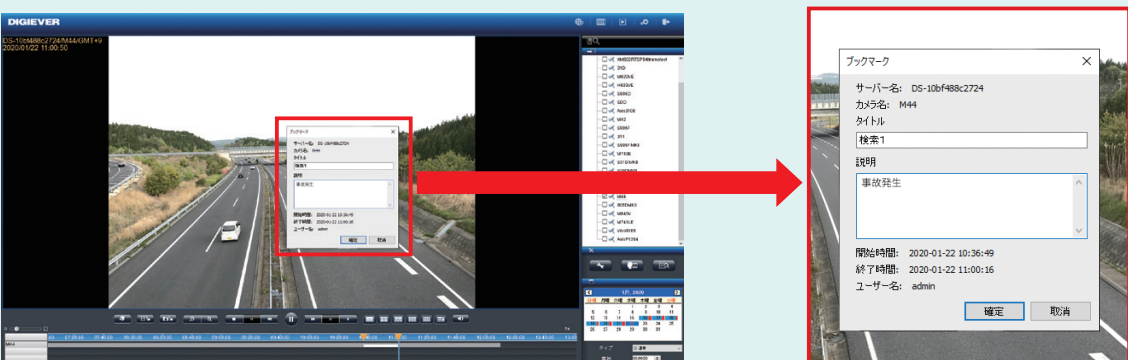
カメラ異常やCPUの温度異常、FANのエラー警告、ハードディスクの容量不足、ハードディスクのエラー、RAIDのサービス低下、RAID障害などを検出し、E-mail送信、パトライトによる光・音声通知、ブザー音など、外部イベントにて警告を通知することができます。



イベント管理リスト	
NVRのイベント	・接続不良 ・UPS 警告 ・HDD 容量不足通知 ・異常シャットダウン ・NTP サーバー同期失敗 ・IO 入力_1～4
ハードウェアイベント	・CPU Temperature Warning (CPU 温度警告) ・システムファンの警告 ・HDD エラー ・HDD 故障 ・低バッテリー警告
ストレージイベント	・RAID (格下げモード) ・RAID 障害 ・RAID 構築中 ・iSCSI サーバー接続不良
外部イベント	・HTTP in_1～32

ブックマーク機能 PC LD

録画データ内で任意の時間帯を指定し、名前をつけて保存（ブックマーク）することができます。ブックマークすることで、後から閲覧する際でも素早く検索／再生することができます。



ブックマーク

サーバー名: DS-106F488C2724
カメラ名: M44
タイトル: 検索1
説明: 事故発生
開始時間: 2020-01-22 10:36:49
終了時間: 2020-01-22 11:00:16
ユーザー名: admin

確定 取消

音声通話機能 PC

接点入力が入ると、画面を単画面に切り替えて表示し、双方向での音声通話を可能にする機能です。

※対応カメラのみ ※推奨：スピーカーホン YAMAHA YVC シリーズ (P54 参照)

音声通話機能の設定方法



「イベントと動作」より、対応カメラの接点入力をクリック、「双方向通話」を選択します



拠点側でボタンが押されると、上画像のように画面が単画面に切り替わり、対話が可能になります。また、拠点側でボタンが押されるとリストに追加され、クリックすることによって拠点を切り替えて対話できます。対話終了時は、「x」を押すと終了できます。すべての対話が終わると、通常のレイアウトに戻ります。

■ モニタリング画面からの接点制御 PC LD ※ Canon 製カメラ・IP ドアホンで使用できる機能です

モニタリング画面上で右クリックし、コンテキストメニュー内の「Digital Output」で「ON / OFF」を選択すると、カメラ側の接点の出力制御を行うことができます。



■ 外部 IO 端子 (DS-16364-RM UHD / DS-4220-RM UHD)

本体にある外部 IO 端子を使用することで、センサー等の入力信号に対してカメラの録画をスタートさせたり、カメラの接続不良・HDDの異常等のイベントが発生した際に信号を出力させたりすることが可能です（※無電圧接点）。

※DS-2205B UHD / DS-4220 UHD は、オプションの DS-GPIO(P12 参照) と組み合わせることで、接点入出力の設定を行うことができます。



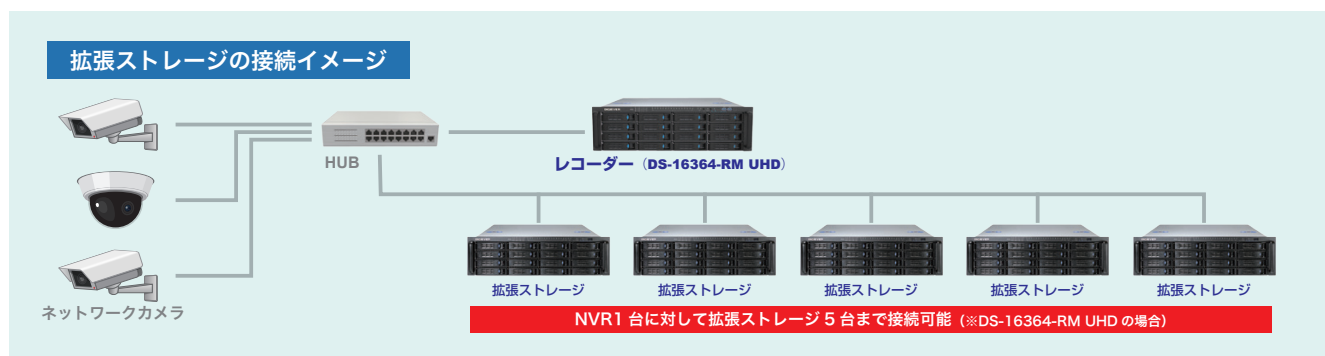
(左から) DO2,DO1,DI-4,DI-3,DI-2,DI-1,GND,Vcc5V

■ 拡張ストレージ

DIGISTOR は、ネットワークを介して拡張ストレージを追加し、記憶容量を増設できます。

DIGISTOR1 台につき最大 5 台※まで拡張ストレージを接続することができます。

※接続できる拡張ストレージ数は、型番ごとに異なります。詳細は、P31 をご覧ください。



■ バックアップ機能

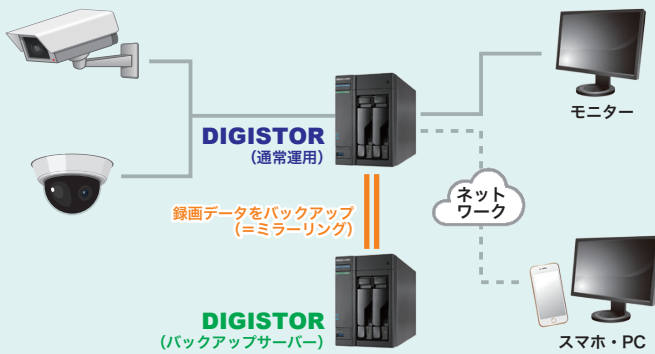
バックアップ機能を有効にすると、そのレコーダーが「バックアップサーバー」となり、10 分おきに、紐づけられた DIGISTOR の録画データをバックアップします。

スケジュール設定を行えば、特定のカメラ/時間のみの録画データのバックアップをとることも可能です。また万が一、バックアップサーバー - レコーダー間の通信が途切れた場合でも、720 分（12 時間）以内であれば、そのデータの補填を行います。

バックアップされた録画データは、通常の録画再生と同様に、PC やローカルディスプレイを介して直接再生することができます。再生を行うのに、PC やソフトウェアをインストールする必要はありません。また、バックアップサーバー側のデータの取り出し・コピーも可能です。

※ライブ映像の閲覧はできません。

バックアップ機能のイメージ



設定画面

レコーダーのIPアドレス、管理者のユーザー名、パスワードを入力して「適用」ボタンを押すと、レコーダーがバックアップサーバーになります。



フェイルオーバー機能

フェイルオーバー機能を有効にすると、そのレコーダーは「フェイルオーバーサーバー」として動作します。

フェイルオーバーサーバーとなったレコーダーは、通常運用されているレコーダーの動作を監視し、障害（＝録画不可状態）を検知すると、自動的にカメラの設定を引き継いで録画処理を行います。

フェイルオーバーサーバーでは、最大4台までのDIGISTORを登録・監視（管理）できます。

※引き継ぐことができるカメラ設定の上限は、フェイルオーバーサーバーのチャンネル数です。

（例：5チャンネルモデルのレコーダーをフェイルオーバーサーバーに設定 → カメラ5台まで代替可能）

※フェイルオーバーサーバーが同時に代替処理できるのは、フェイルオーバーサーバー1台につきレコーダー1台までです。

フェイルオーバー機能のイメージ①

通常時



障害発生時



フェイルオーバー機能のイメージ②

レコーダーのみ

レコーダー

障害発生

障害発生後の録画データは残らない・・・

レコーダー + フェイルオーバーサーバー

レコーダー

障害発生

フェイルオーバーサーバー

状態監視

フェイルオーバー

NVR 復旧

フェイルバック

状態監視

NVRが復旧するまでの間、機能を引き継いでデータを保存！

通常のレコーダーと、フェイルオーバーサーバーに設定したレコーダーを組み合わせることで運用することにより、レコーダーの障害発生時に起こる「録画データの欠損」を可能な限り防ぐことができます。

スマートフォン・ソリューション「DIGIMobile V2」

DIGISTOR は、iOS アプリ「DIGIMobile V2」に対応しています。

「DIGIMobile V2」を使用することで、遠隔地からモバイル端末で DIGISTOR にアクセスし、ライブ映像の閲覧や録画再生を行うことができます。

※ Android 版「DIGIMobile V2」のご利用については、営業担当にご相談ください。

DIGIMobile V2 の主な機能

- ライブ映像の閲覧（最大 16 分割、シーケンシャル）
- 録画再生
- PTZ 操作
- 音声受信
- 複数の NVR の登録 など



DIGIMobile V2
のダウンロードは
こちらから



分割表示切り替え

画面右上の分割表示アイコンをタップすることで、指定した分割数に表示を切り替えることができます。「DIGIMobile V2」では、2/4/6/9/12/16 分割に対応しています。

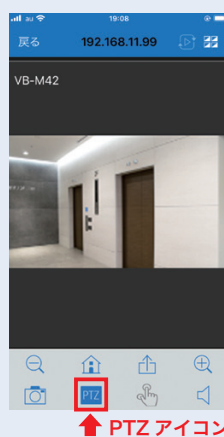


※カメラ映像をダブルタップすることで、選択したカメラが単画面表示になります。

単画面表示から元の分割表示に戻す場合は、左上の「戻る」ボタンをタップしてください。

PTZ 操作



画面下部にある「PTZ」アイコンをタップすることで、PTZ コントロールパネルが開きます。
※単画面表示のみの機能です。




↑ PTZ アイコン

《PTZ コントロール操作方法》


1) 光学ズーム操作

光学ズームアウト/インボタン ( ) をロングタップすることで、光学ズーム操作を行うことができます。

2) ホームポジション呼び出し

ホームポジションボタン () をタップすることで、カメラに設定されたホームポジションを呼び出すことができます。

3) プリセットポジション呼び出し

プリセットポジションボタン () をタップすることで、カメラに設定されたプリセットポジションを呼び出すことができます。

4) パン/チルト操作

カメラ映像を左右/上下にスワイプすることで、パン/チルト操作を行うことができます。

《DIGIMobile V2 使用時の注意事項》

※モバイル通信の際、多くのデータ量を消費しますので、ご注意ください。

※ DIGIMobile がアップデートされた際、DIGISTOR のバージョンによっては接続できなくなる可能性があります。

原則、アップデートはしないようにしてください。

※一度アップデートすると、アプリのバージョンをダウングレードすることはできませんので、ご注意ください。

※ eSIM を使用したスマートフォンでは DIGIMobile V2 を使用しないでください。接続できない・映像表示されない場合があります。

DS-CMS (中央管理システム)

DS-CMS は、複数台の NVR を統合して一括管理できるシステムです。

専用のソフトウェアを PC にインストールし、NVR を登録すると、NVR に登録されているカメラをまとめて管理できるようになります (※ 64ch まで無償。アップグレードキー [64ch ごと] を追加することで、最大 1024ch まで一元管理が可能)。「MAP 機能」や「お気に入りグループ機能」を使用することで、一元管理が可能となります。

DS-CMS では、DIGISTOR シリーズはもちろん、VioStor シリーズも統合管理することができ、同一画面でモニタリング・再生ができるほか、モニターを組み合わせることで、MAP・カメラモニタリングの表示・録画再生表示などもできます。

※再生画面での操作方法は、基本的に DIGISTOR (NVR Player) と同じです。詳細は P17 をご覧ください。

※CMS の登録カメラ台数拡張に関しては、別途キーファイルを発行いたします。キーファイルの発行には、使用される PC の情報が必要となるため、事前に無償のソフトウェアを PC にインストールし、PC 情報を取得してください。

※無償のお試し版は、弊社ホームページまたは以下のリンクからダウンロードできます。

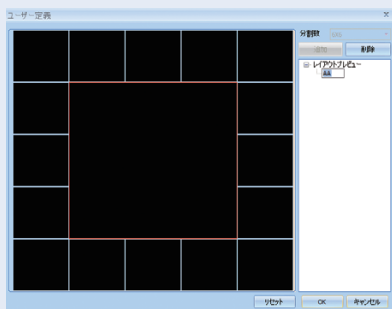
【ダウンロード URL】 <https://rodweb.co.jp/download/index.html> ※「DS-CMS」の項目よりダウンロードできます。

CMS 機能紹介① レイアウト作成

DS-CMS (CMS-Client) では、レイアウトを任意に作成することができます。

カメラ台数に合わせた分割数を作ることで、ブランクを少なくすることが可能です。

《レイアウト作成画面》



《CMS モニタリング画面》



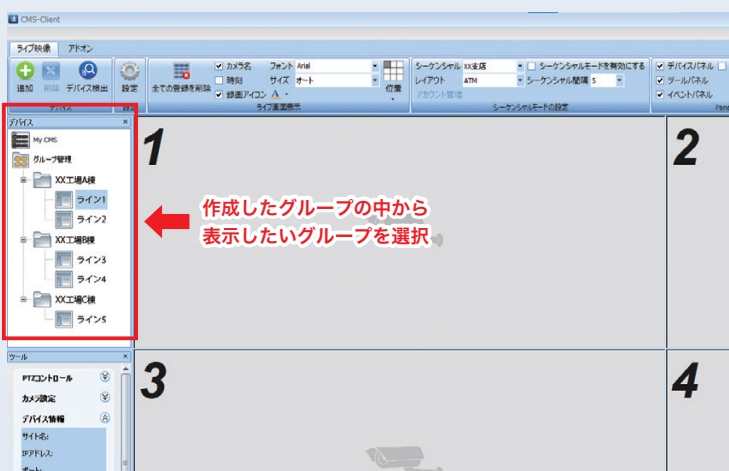
CMS 機能紹介② グループ作成

DS-CMS (CMS-Client) では、グループごとにレイアウト (分割数) を記憶させることができます。

あらかじめグループを作成しておくことで、必要なカメラ台数/分割のみ表示させることが簡単にできるようになります。

さらに、グループごとでのシーケンシャルも可能です。

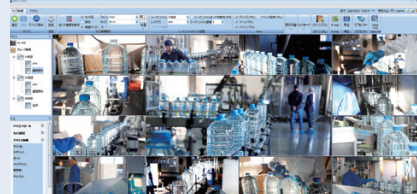
● グループ作成例



《ライン 1》



《ライン 2》



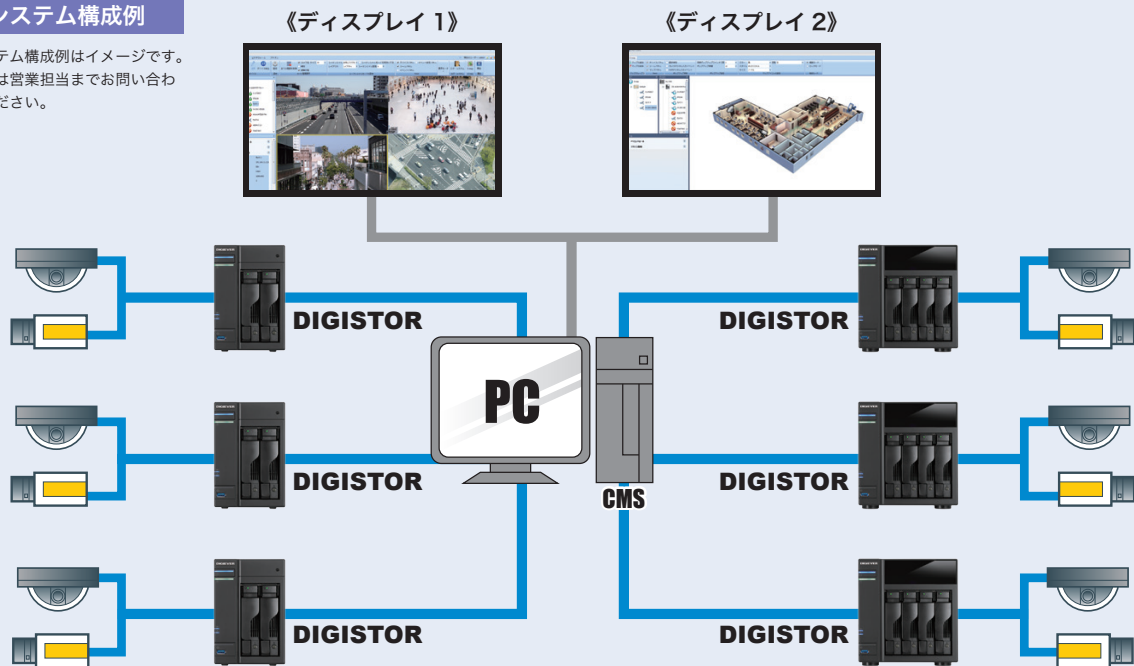
CMS 機能紹介③ E-MAP 機能

メニューより「マップの追加」を選択すると、E-MAP を追加できます。
 カメラツリーからカメラをドラッグ & ドロップすることで、MAP にカメラを配置できます。
 また、配置したカメラのアイコンをダブルクリックすることで、カメラ映像がポップアップされ、映像の閲覧が可能となります。
 PC がデュアル・ディスプレイでの運用であれば、「ディスプレイ 1 にライブ映像、ディスプレイ 2 に E-MAP 表示」で管理できます。
 ※システム構成例のイメージをご参照ください。



システム構成例

※システム構成例はイメージです。
 詳細は営業担当までお問い合わせ
 ください。



ソフトウェア仕様

モニター	最大カメラ登録数	1,024 台 (64 台までは無償)
	表示モード	単画面 /4/9/16/25/36/49/64/81/100/121/144 分割、 全画面、ユーザー定義
	他機能	お気に入りグループ管理、グループシーケンシャル、イベント通知
再生	最大カメラ再生数	16 台 (※ 16 分割 独立再生)
	再生モード	再生、逆再生、停止、一時停止、早送り (最大 128 倍速)、 巻き戻し、コマ送り、コマ戻し
	他機能	グループ再生、スマート検索、録画映像のEXPORT (16 台まで)、 スナップショット、デジタルズーム、イベント検索
MAP	画像登録枚数	階層：5 階層まで / 画像枚数：最大 100 枚
	カメラ登録台数	1MAP あたり最大 144 台
	登録可能画像フォーマット	BMP/JPEG/PNG ※解像度 1920×1080 程度まで
	他機能	イベント通知機能 ※アラート発生時、画面をポップアップする ※最大 10 台まで
ユーザー	ユーザー数	最大 1,024 アカウント
	権限	5 種類 ※管理者 / パワーユーザー / ユーザー / オペレーター / ゲスト

クライアント PC 推奨仕様

パソコン要件	OS	Windows11 Pro 64bit
	CPU	Intel® Core i7-14700F プロセッサ相当
	メモリ	16GBメモリ相当
	ビデオカード	NVIDIA® GeForce® RTX4060/8GB 相当
	ネットワークアダプタ	1000Mbps程度
	グラフィック解像度	1920×1080ピクセル以上

※WindowsはMicrosoft Corporationの商標です。

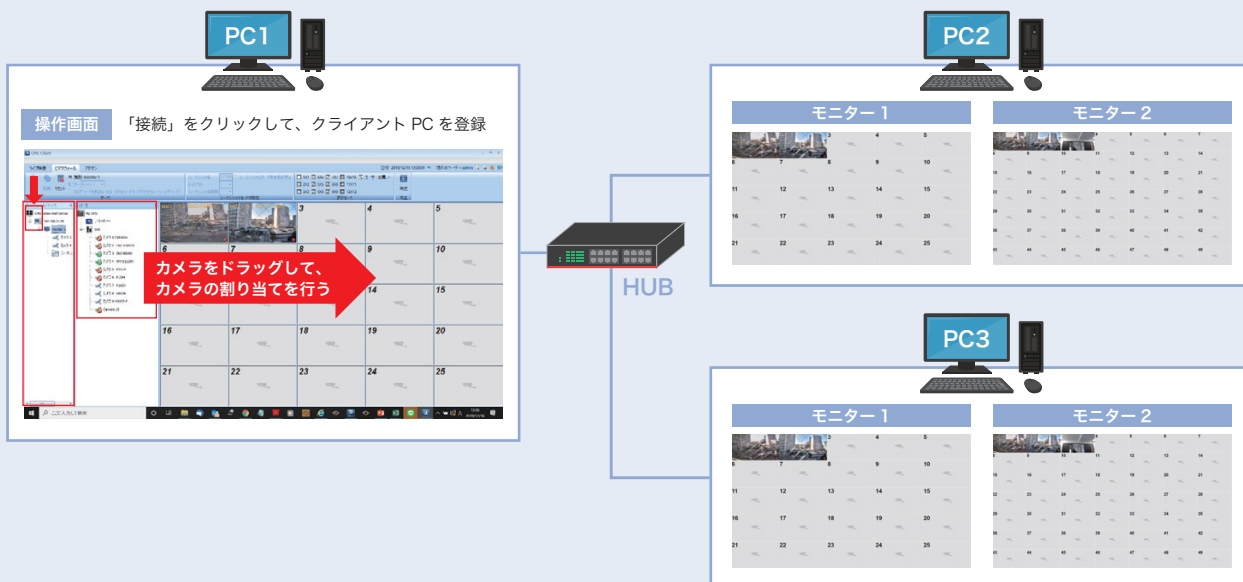
CMS Video Wall

CMS Video Wall は、PC モニタリングを制御できる機能です。

CMS Video Wall のソフトウェア（別売）を別 PC にインストールし、CMS を使用して Video Wall として登録すると、別 PC の画面（※ 1PC あたり 2 台まで）のライブレイアウトを操作できます。

※CMS Video Wall は、別売の PC ソフトウェアです。 ※リモート PC は、ローカル接続限定です。

複数箇所の PC モニタリングを制御



単一箇所の PC モニタリングを制御



- 1 設定した IP アドレスをクリックすると、メニューが表示されますので、出力を行わないモニターのチェックを外してください。
※出力されるモニターの有効/無効を選択できます。
※デフォルトでデュアルモニターに VideoWall の画面が両方とも表示された場合は、CMS 起動後、VideoWall を立ち上げ、「Windows+tab ボタン」で CMS を選択し、この操作を行ってください。